

県内各地では、気候の変化に耐えて長い時間を生き抜いてきた巨木や、湿地や海岸などさまざまな環境で生育する植物を見ることができます。

川古のクス
(武雄市若木町)

川古地区にあるクスノキ。樹高26m、幹回り21m、枝張りには東西26m、南北約33mの巨木です。樹齢1000年を超えられているとされています。



(佐賀県教育委員会 提供)

国の天然記念物に指定された樹木

下合瀬の大カツラ
(佐賀市富士町)

山神の御神木で、樹齢は推定1000年。樹高34m、根の回りは13.8m、枝張りは周囲37m。4～5月に赤い花が咲きます。



(佐賀県教育委員会 提供)

高串のアコウ自生北限地帯
(唐津市肥前町)

肥前町高串はアコウが自生する北限地です。高串港近くの切り立った砂岩に10数株が自生しています。大きなアコウは樹齢180年ほどと推定されています。樹高約7m。幹から「気根」と呼ばれる根が垂れ下がっています。



(佐賀県教育委員会 提供)

※このページは、佐賀県文化財データベース「国指定(天然記念物の部)01」2015(平成27)年更新を参考に作成

九州の尾瀬
「櫻原湿原」の
希少植物

サギソウとミツガシワ
(唐津市七山)

高原性湿地には335種類以上の植物が自生しています。3～4月には氷河期の遺存種「ミツガシワ」、夏にはサギが飛んでいるような形をした「サギソウ」の花が咲き乱れます。



ミツガシワ (佐賀県県民環境部有明海再生・自然環境課 提供)



サギソウ (吉田喜美明氏 提供)



櫻原湿原 (唐津市七山) (佐賀県県民環境部有明海再生・自然環境課 提供)

シチメンソウ
(佐賀市東与賀町)

東与賀海岸に群生する塩生植物です。塩水に浸るような環境でも生きられる植物のことです。秋になると真っ赤に色づくことから、「海の紅葉」と言われています。

有明海沿岸



(佐賀県観光連盟 提供)



(佐賀県観光連盟 提供)

有明海と
玄界灘の
海岸に群生
する植物

玄界灘沿岸



(吉田喜美明氏 提供)



玄界灘沿岸

(吉田喜美明氏 提供)

ハマオモト(ハマユウ)
(玄界灘沿岸)

玄海灘沿岸に群生する海浜性植物です。海浜性植物とは、海岸の砂浜に育つ植物のことです。7月中旬頃、白い花が咲きます。

調べてみよう!

国指定の天然記念物の樹木にはどんなものがあるのかな。

